③ 評価基準が不定(**)

サービス分類:CB(タイプ10分類) と 同:同:評価基準が不定 のクロス表

			同:同]:評価基準;	が不定	
			非該当	該当	特に重要	合計
サービス分類: CB (タイプ10分類)	1.法人向け販売	度数	6	1	1	8
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	75.0%	12.5%	12.5%	100.0%
	2.消費者向け販売	度数	15	12	6	33
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	45.5%	36.4%	18.2%	100.0%
	3.製造業	度数	6	8	0	14
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	42.9%	57.1%	.0%	100.0%
	4.メンテナンス・ロジス	度数	13	9	3	25
	ティクス・レンタル	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	52.0%	36.0%	12.0%	100.0%
	5.コンサル・システム開発	度数	5	9	0	14
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	35.7%	64.3%	.0%	100.0%
	6.ヒト (身体) に対する	度数	4	16	0	20
	サービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	20.0%	80.0%	.0%	100.0%
	7.専門的システムを使用さ	度数	9	6	0	15
	せるサービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	60.0%	40.0%	.0%	100.0%
	8.専門情報提供サービス	度数	10	5	0	15
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	66.7%	33.3%	.0%	100.0%
	9.モノに対するサービス	度数	2	3	0	5
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	40.0%	60.0%	.0%	100.0%
	10.ヒト (精神) に対する	度数	3	5	2	10
	サービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	30.0%	50.0%	20.0%	100.0%
合計		度数	73	74	12	159
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	45.9%	46.5%	7.5%	100.0%

⁽注) 1. この要因を指摘する割合の CB の違いによる差は統計的には有意 (5%水準)。

^{2.} ただしサンプル数の少ないセルも数多く、解釈には注意が必要である。

④ 期待が高すぎる

サービス分類:CB(タイプ10分類) と 同:同:期待が高すぎる のクロス表

			同:同	:期待が高	すぎる	
			非該当	該当	特に重要	合計
サービス分類:CB(タイ プ10分類)	1.法人向け販売	度数	8	0	0	8
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	100.0%	.0%	.0%	100.0%
	2.消費者向け販売	度数	22	10	1	33
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	66.7%	30.3%	3.0%	100.0%
	3.製造業	度数	13	1	0	14
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	92.9%	7.1%	.0%	100.0%
	4.メンテナンス・ロジス	度数	16	8	1	25
	ティクス・レンタル	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	64.0%	32.0%	4.0%	100.0%
	5.コンサル・システム開発	度数	10	4	0	14
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	71.4%	28.6%	.0%	100.0%
	6.ヒト (身体) に対する	度数	15	5	0	20
	サービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	75.0%	25.0%	.0%	100.0%
	7.専門的システムを使用さ	度数	8	7	0	15
	せるサービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	53.3%	46.7%	.0%	100.0%
	8.専門情報提供サービス	度数	6	8	1	15
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	40.0%	53.3%	6.7%	100.0%
	9.モノに対するサービス	度数	3	2	0	5
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	60.0%	40.0%	.0%	100.0%
	10.ヒト (精神) に対する	度数	7	2	1	10
	サービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	70.0%	20.0%	10.0%	100.0%
合計		度数	108	47	4	159
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	67.9%	29.6%	2.5%	100.0%

⁽注) この要因を指摘する割合の CB の違いによる差は統計的には有意ではない。

従業員

① 知識不足

サービス分類:CB(タイプ10分類) と 変異性原因:従業員:知識不足 のクロス表

			変異性原因	因:従業員:	知識不足	
			非該当	該当	特に重要	合計
サービス分類:CB(タイ プ10分類)	1.法人向け販売	度数	5	2	1	8
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	62.5%	25.0%	12.5%	100.0%
	2.消費者向け販売	度数	11	18	5	34
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	32.4%	52.9%	14.7%	100.0%
	3.製造業	度数	5	8	1	14
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	35.7%	57.1%	7.1%	14 100.0% 28 100.0% 14 100.0% 19 100.0%
	4.メンテナンス・ロジス	度数	7	18	3	28
	ティクス・レンタル	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	25.0%	64.3%	10.7%	100.0%
	5.コンサル・システム開発	度数	9	5	0	14
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	64.3%	35.7%	.0%	100.0%
	6.ヒト (身体) に対する	度数	10	9	0	19
	サービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	52.6%	47.4%	.0%	100.0%
	7.専門的システムを使用さ	度数	6	7	2	15
	せるサービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	40.0%	46.7%	13.3%	100.0%
	8.専門情報提供サービス	度数	6	8	2	16
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	37.5%	50.0%	12.5%	100.0%
	9.モノに対するサービス	度数	1	3	1	5
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	20.0%	60.0%	20.0%	100.0%
	10.ヒト (精神) に対する	度数	3	7	0	10
	サービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	30.0%	70.0%	.0%	100.0%
合計	<u> </u>	度数	63	85	15	163
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	38.7%	52.1%	9.2%	100.0%

⁽注) この要因を指摘する割合の CB の違いによる差は統計的には有意ではない。

② スキル不足

サービス分類:CB(タイプ10分類) と 同:同:スキルが低い のクロス表

			同:[司:スキルか	低い	
			非該当	該当	特に重要	合計
サービス分類: CB(タイ	1.法人向け販売	度数	6	2	0	8
プ10分類) 		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	75.0%	25.0%	.0%	100.0%
	2.消費者向け販売	度数	10	21	3	34
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	29.4%	61.8%	8.8%	100.0%
	3.製造業	度数	8	5	1	14
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	57.1%	35.7%	7.1%	100.0%
	4.メンテナンス・ロジス	度数	9	17	2	28
	ティクス・レンタル	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	32.1%	60.7%	7.1%	100.0%
	5.コンサル・システム開発	度数	4	3.6% 71.4% .0%	14	
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	28.6%	71.4%	.0%	100.0%
	6.ヒト (身体) に対する	度数	8	10	1	19
	サービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	42.1%	52.6%	5.3%	100.0%
	7.専門的システムを使用さ	度数	7	7	1	15
	せるサービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	46.7%	46.7%	6.7%	100.0%
	8.専門情報提供サービス	度数	8	8	0	16
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	50.0%	50.0%	.0%	100.0%
	9.モノに対するサービス	度数	1	3	1	5
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	20.0%	60.0%	20.0%	100.0%
	10.ヒト (精神) に対する	度数	4	5	1	10
	サービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	40.0%	50.0%	10.0%	100.0%
合計		度数	65	88	10	163
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	39.9%	54.0%	6.1%	100.0%

⁽注) この要因を指摘する割合の CB の違いによる差は統計的には有意ではない。

③ モチベーションが低い

サービス分類: CB (タイプ10分類) と同:同:モチベーションが低いのクロス表

			同:同:	モチベーショ	ンが低い	
			非該当	該当	特に重要	合計
サービス分類:CB(タイ	1.法人向け販売	度数	2	5	1	8
プ10分類)		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	25.0%	62.5%	12.5%	100.0%
	2.消費者向け販売	度数	17	13	4	34
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	50.0%	38.2%	11.8%	100.0%
	3.製造業	度数	11	2	1	14
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	78.6%	14.3%	7.1%	100.0%
	4.メンテナンス・ロジス	度数	20	7	1	28
	ティクス・レンタル	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	71.4%	25.0%	3.6%	100.0%
	5.コンサル・システム開発	度数	7	6	1	14
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	50.0%	42.9%	7.1%	100.0%
	6.ヒト (身体) に対する	度数	6	11	2	19
	サービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	31.6%	57.9%	10.5%	100.0%
	7.専門的システムを使用さ	度数	7	6	2	15
	せるサービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	46.7%	40.0%	13.3%	100.0%
	8.専門情報提供サービス	度数	12	4	0	16
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	75.0%	25.0%	.0%	100.0%
	9.モノに対するサービス	度数	1	4	0	5
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	20.0%	80.0%	.0%	100.0%
	10.ヒト (精神) に対する	度数	4	4	2	10
	サービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	40.0%	40.0%	20.0%	100.0%
合計		度数	87	62	14	163
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	53.4%	38.0%	8.6%	100.0%

⁽注) この要因を指摘する割合の CB の違いによる差は統計的には有意ではない。

② 提案力が低い (**)

サービス分類:CB(タイプ10分類) と 同:同:対顧客提案力が低い のクロス表

			同:同:	対顧客提案	力が低い	
			非該当	該当	特に重要	合計
サービス分類:CB(タイ	1.法人向け販売	度数	5	3	0	8
プ10分類)		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	62.5%	37.5%	.0%	100.0%
	2.消費者向け販売	度数	16	9	9	34
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	47.1%	26.5%	26.5%	100.0%
	3.製造業	度数	3	6	5	14
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	21.4%	42.9%	35.7%	100.0%
	4.メンテナンス・ロジス	度数	14	11	3	28
	ティクス・レンタル	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	50.0%	39.3%	10.7%	100.0%
	5.コンサル・システム開発	度数	3	10	1	14
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	21.4%	71.4%	7.1%	100.0%
		度数	11	7	1	19
	サービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	57.9%	36.8%	5.3%	100.0%
	7.専門的システムを使用さ	度数	8	7	0	15
	せるサービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	53.3%	46.7%	.0%	100.0%
	8.専門情報提供サービス	度数	4	7	5	16
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	25.0%	43.8%	31.3%	100.0%
	9.モノに対するサービス	度数	2	2	1	5
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	40.0%	40.0%	20.0%	100.0%
	10.ヒト (精神) に対する	度数	2	8	0	10
	サービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	20.0%	80.0%	.0%	100.0%
合計		度数	68	70	25	163
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	41.7%	42.9%	15.3%	100.0%

⁽注) 1. この要因を指摘する割合の CB の違いによる差は統計的には有意 (5%水準)。

^{2.} ただしサンプル数の少ないセルも数多く、解釈には注意が必要である。

③ 共感性・感受性が低い

サービス分類:CB(タイプ10分類) と 同:同:対顧客の感受性欠如 のクロス表

			同:同:	対顧客の感	受性欠如	
			非該当	該当	特に重要	合計
サービス分類: CB(タイ	1.法人向け販売	度数	7	1	0	8
プ10分類)		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	87.5%	12.5%	.0%	100.0%
	2.消費者向け販売	度数	18	13	3	34
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	52.9%	38.2%	8.8%	100.0%
	3.製造業	度数	11	3	0	14
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	78.6%	21.4%	.0%	100.0%
	4.メンテナンス・ロジス	度数	18	9	1	28
	ティクス・レンタル	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	64.3%	32.1%	3.6%	100.0%
	5.コンサル・システム開発	度数	11	2	1	14
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	78.6%	14.3%	7.1%	100.0%
	6.ヒト (身体) に対する	度数	13	5	1	
	サービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	68.4%	26.3%	5.3%	
	7.専門的システムを使用さ	度数	9	6	0	15
	せるサービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	60.0%	40.0%	.0%	100.0%
	8.専門情報提供サービス	度数	9	6	1	16
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	56.3%	37.5%	6.3%	100.0%
	9.モノに対するサービス	度数	4	1	0	5
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	80.0%	20.0%	.0%	100.0%
	10.ヒト (精神) に対する	度数	2	8	0	10
	サービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	20.0%	80.0%	.0%	100.0%
合計		度数	102	54	7	163
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	62.6%	33.1%	4.3%	100.0%

⁽注) この要因を指摘する割合の CB の違いによる差は統計的には有意ではない。

④ 従業員同士の関係

サービス分類:CB(タイプ10分類) と 同:同:従業員同士の関係が悪い のクロス表

			同:同:従	:業員同士の	関係が悪い	
			非該当	該当	特に重要	合計
サービス分類: CB(タイ プ10分類)	1.法人向け販売	度数	8	0	0	8
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	100.0%	.0%	.0%	100.0%
	2.消費者向け販売	度数	26	6	2	34
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	76.5%	17.6%	5.9%	100.0%
	3.製造業	度数	11	3	0	14
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	78.6%	21.4%	.0%	100.0%
	4.メンテナンス・ロジス	度数	24	4	0	28
	ティクス・レンタル	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	85.7%	14.3%	.0%	100.0%
	5.コンサル・システム開発	度数	12	2	0	14
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	85.7%	14.3%	.0%	100.0%
	6.ヒト (身体) に対する	度数	13	6	0	19
	サービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	68.4%	31.6%	.0%	100.0%
	7.専門的システムを使用さ	度数	14	1	0	15
	せるサービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	93.3%	6.7%	.0%	100.0%
	8.専門情報提供サービス	度数	13	2	1	16
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	81.3%	12.5%	6.3%	100.0%
	9.モノに対するサービス	度数	2	3	0	5
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	40.0%	60.0%	.0%	100.0%
	10.ヒト (精神) に対する	度数	6	4	0	10
	サービス	サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	60.0%	40.0%	.0%	100.0%
合計		度数	129	31	3	163
		サービス分類:CB(タイ プ10分類) の %	79.1%	19.0%	1.8%	100.0%

⁽注) この要因を指摘する割合の CB の違いによる差は統計的には有意ではない。